

高知大学希望創発センター

【説明用資料】

社会課題解決を通じた人づくり

産官学、文理、高知・東京等の協働による全く新しい、高知大学を拠点とする希望創発エコシステムである。常識を疑い、本質に迫る「問い」を立て、仮説・検証型のワークショップ等を通して「希望を作れる人材」の育成インフラ（モデル）を作り、それを全国に発信する。

2018年9月27日
国立大学法人 高知大学

センター設立の背景・希望の源泉と構想の着眼点

設立の背景①

資本主義経済下では
あらゆるモノを、お金で測る傾向が加速化
(学問の細分化と部分最適思考)

時は金なり、テンポよく、分かりやすくにより
我々の思考、人の繋がり画一化

社会を見る眼の短期・狭小化
スキルの“即戦力”人材の希求

本来もつ個々の多様性が活かされない社会

イノベーション創発に必要な
十分な観察・熟考時間の不足

イノベーションが創発しにくい社会

人々の心情

社会の閉塞感

明るい未来を持ちにくい
希望が持ちにくい

構想の着眼点

- **本来の役割での大学と企業の協働化**は、イノベーション創発のための基盤
- **社会的課題の多様な視点からの多面的把握**は、イノベーション創発の源泉
- **関係者の相互信頼関係**は、イノベーション創発の成立要件
- **理念で繋がる人的ネットワーク**は、イノベーション創発の成立要件

希望とは

希望は我々の世界観を変え、イノベーションはその結果として創発される

この一連の経験が、我々の社会認識を変容させ、結果として社会を豊かにする源泉となる
その本体が個々の内に生まれる希望である

共有できないからこそ、共有するために多様な人々と共に、語り、知り、学び、創る活動が生まれる

希望は一人一人の心のうちに生まれる (安らぎも、幸せも、苦悩もすべて自分の中にしかない)
だから本来、どこまでも他者と真に共有できるものではない

希望創発のシステム化

着想

設立の背景②

【大学と企業の本来の役割】

【大学の役割】

哲学をしながら次代の担い手を研究を通して
養成

【企業の役割】

日々起こる問題に対してソリューションの継続
した提供

【大学と企業の現状】

【大学の課題】

長期的な経済の停滞によるソリューション偏
重研究への変質

【企業の課題】

未来地図を持ちえない時代にあつて長期的
な事業計画が立てられない不安

変質

着想

希望創発センターの活動の仕組

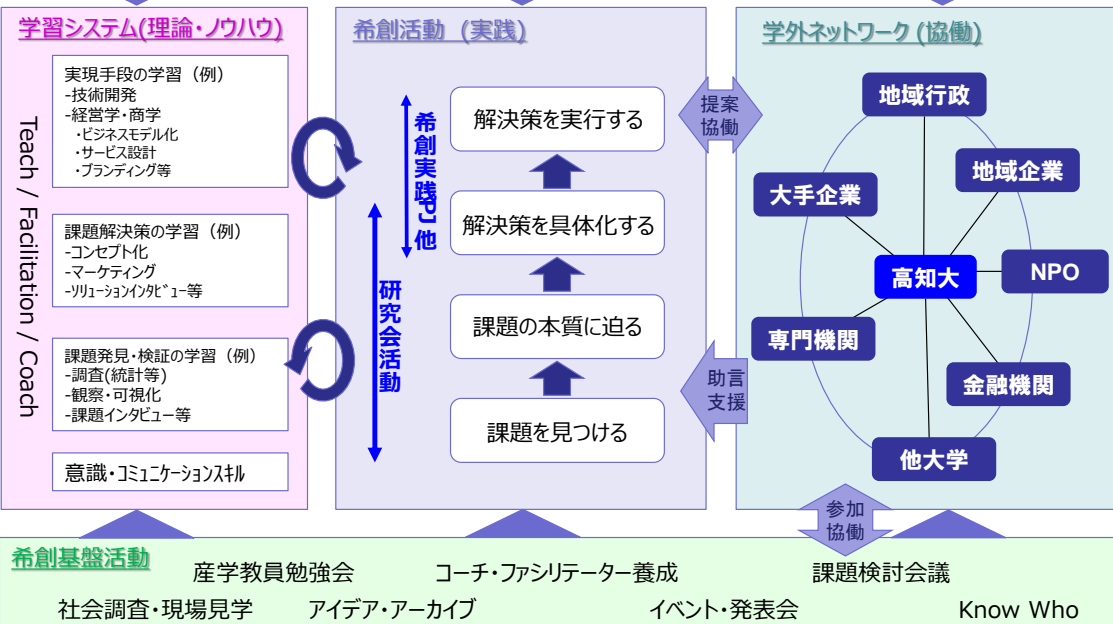
本センターは、下記方針の下、イノベーションの持続的創発を狙いとした「希望創発エコシステム」(ecosystem ; 生態系) 構築を共通テーマに、センターの教育研究システムと学外ネットワークを有効に連動させるものである。

- ① 俯瞰的な視点から社会の問題を捉える
- ② 多様な人材と多様な社会インフラを融合することによって、問題の本質的かつ具体的解決策を見出す
- ③ 見出した解決策を、ビジネスを含む実際の社会的活動の場に落とし込む
- ④ 上記プロセスを通して、その意志と能力を培い、信念と希望に満ちた学生・企業人・地域社会人を育成する

希創方針

俯瞰的な視点から社会の問題を捉え、多様な人材や知見、社会インフラを融合することで、具体的かつ本質的な解決策を見出し、実際にそれをビジネスを含めた社会の場で解決する活動に落とし込む。
この過程を通して、その意志と能力を有し、信念と希望に満ちた学生・企業人・地域社会人を育成し続ける。

学術志向型学習 (AOL) と社会志向型学習 (SOL) の往還による融合的な学習による実現



人間関係形成インター
ンシップ (SBI)

理念醸成・信頼関係
強化プログラム

希望創発研究会

希望創発
ゼミ

希望創発
セミナー

希望創発実践
プロジェクト

- **2類型の学習 (AOLとSOL) を融合した教育研究システム**
(1) Academic-oriented Learning (AOL;学術志向型学習)
 大学が長い歴史の中で蓄積してきた普遍的な真理や高度に抽象化された概念理解を目指す学び
(2) Social-oriented Learning (SOL;社会志向型学習)
 流動的な社会状況において他者と共創する経験に基づいた学習
- **希望創発学習プログラムの構成**
 AOLとSOLの両志向の視点からテーマ・研究対象について深く考察することで仮説を形成する「希望創発研究会」、そこで見出した解決策を具体化・実行する「希望創発実践プロジェクト」などで構成する。
- **社会課題のテーマを通し課題解決プロセスの実践経験**
 混沌とした状況下で本質的な議論を通し、仮説形成を行い、その解決策を立案し、実際に取り組むという課題解決プロセスを実践する。課題解決に取り組む意志と能力を身につけることができる。

イノベーション創発における高知の“優位性”

□ 重要イノベーション成分と創発要件

- イノベーション成分（技術、経営、感性）のうち人の審美観や心地よさに直接的に働きかける「感性」成分がとくに重要
- 創発要件
 - ✓ 価値多様化社会における人々に共通の「審美観や心地よさ」の解明
 - ✓ これまでの常識では解決不可能と思われる現象を解決するための「仮説」の形成（知の創造）

□ 創発要件の創出プロセスと成立要件

- 創出プロセス
 - ✓ 社会的課題が顕在化する課題先進県の現状に対する多様な視点からの多面的把握
 - ✓ 観察者たち自らの閃きによる、説明しうる複数の「普遍的事象（理論などの知的資産）」の出し合いと選択
- プロセス成立要件
 - ✓ 関係者間の壁を取り払い、ゴールに向かうための「共鳴場」醸成ツールの存在
 - ✓ 理念で繋がる人的ネットワークの存在

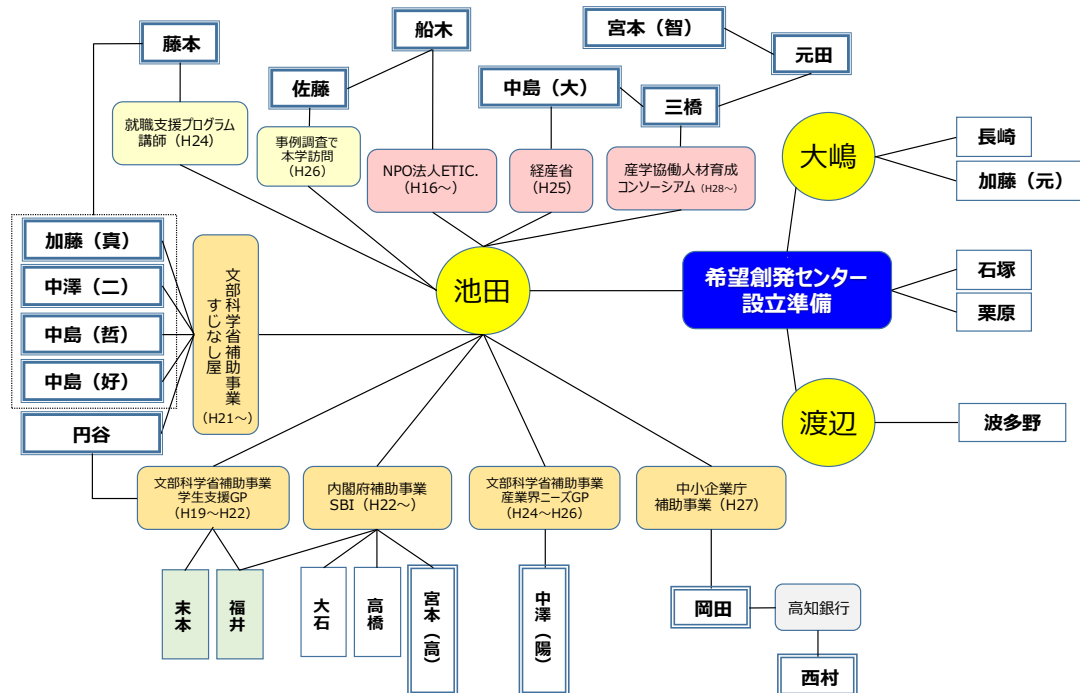
□ 高知の“優位性”

- 地域サイド
 - ✓ 全国に先駆けた社会的課題の顕在化
 - ✓ 未知の課題にも共に“ワクワク”しながら協働できる県民気質
 - ✓ 坂本龍馬、まんが王国、よさこい祭りなど県外の人々を引き付ける地域文化
- 高知大学サイド
 - ✓ Super Regional Universityとして地域協働を軸にした全学的教育研究体制
 - ✓ 独自に開発した共鳴場の醸成を可能にする共感的相互理解醸成機能「すじなし屋」手法
 - ✓ キャリア形成支援プログラムの開発実践を通して形成した理念共有型人的ネットワーク

各種教員一覧

種別	氏名	元職・現職等	種別	氏名	元職・現職等
1	兼務教員 池田 啓実	センター長（総合科学系地域協働教育学部門 教授 / 地域協働学部）	14	特任教員* 岡田 一水	株式会社高知銀行大正支店 支店長
2	兼務教員 渡辺 茂	副センター長（総合科学系複合領域科学部門 教授 / 理工学部）	15	客員教員 佐藤 智子	東北大学 高度教養教育・学生支援機構 准教授 / 学習支援センター 副センター長
3	兼務教員 大嶋俊一郎	副センター長（総合科学系黒潮圏科学部門 教授 / 農林海洋科学部）	16	客員教員 元田 勝人	全国健康保険協会 東京支部長
4	兼務教員 高橋 俊	人文社会科学部門 教授 / 人文社会科学部	17	客員教員 中島 哲	一般社団法人日本自動車会議所 専務理事（前トヨタ自動車株式会社 東京総務部長）
5	兼務教員 栗原 幸男	医療学系看護学部門 教授 / 医学部	18	客員教員 中島 好博	パナソニックシステムソリューションズ`シヤパン株式会社 取締役執行役員 人事・総務部部長
6	兼務教員 長崎 慶三	自然科学系 理工学部門 教授 / 農林海洋科学部	19	客員教員 中島 大輔	日本電気株式会社 ビジネスソリューション企画本部 本部長
7	兼務教員 大石 達良	総合科学系地域協働教育学部門 教授 / 地域協働学部	20	客員教員 藤本 治己	株式会社ファーストリテイリング 人事部部長
8	兼務教員 波多野慎悟	総合科学系複合領域科学部門 講師 / 理工学部	21	客員教員 船木 成記	長野県参与 / 尼崎顧問 / 株式会社博報堂
9	兼務教員 加藤 元海	総合科学系黒潮圏科学部門 講師 / 理工学部	22	客員教員 三橋 明弘	旭化成エレクトロニクス株式会社 人事室 人事室長
10	兼務教員 石塚 悟史	総合科学系黒潮圏科学部門 准教授 / 地域連携推進センター	23	客員教員 円谷 友英	兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 准教授
11	特任教員 中澤 二郎	元新日鉄ソリューションズ株式会社 人事部部長 / 中央大学経済学部兼任講師	24	客員教員 宮本 高憲	株式会社高南メディカル 代表取締役社長
12	特任教員 宮本 智司	元旭有機材株式会社 社外取締役常勤監査等委員	25	客員教員 中澤 陽一	和建設株式会社 代表取締役
13	特任教員 加藤 真	客将 代表 / 元株式会社富士通総研 取締役執行役員常務	26	客員教員 西村 太助	株式会社高知銀行 営業統括部副業務役

※ 特任教員* ; 現職者任用のためのクロスポイントメント制度活用による特任教員



希望創発研究会テーマ①（2018年度）

□ Aテーマ

持続型・安全・安定食糧生産システムの開発と高知からの発信

- 人々が**健康で、幸せに人生を送る**事ができる「食」を提案
- 高知大学の固有先端技術と高知県の恵まれた農林水産資源を有機的に結び付け、**次世代食糧生産システムを提案**
- 枯渇が指摘される**水産資源の現状**について分析研究
- 専門的な生産課題対応の中でも、**安全な流通、消費などの観点**も含めた提案

参画社員				登録学生			
連番	性別	所属組織	所在地	連番	性別	学年	所属学部・大学院
1	男	カウネット株式会社	首都圏	1	男	D3	総合人間自然科学研究科 黒潮圏科学専攻
2	女	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	首都圏	2	男	M2	総合人間自然科学研究科 農学専攻
3	男	旭化成株式会社	首都圏	3	男	M2	総合人間自然科学研究科 理学専攻
4	男	栗田工業株式会社	首都圏	4	男	M1	総合人間自然科学研究科 農学専攻
5	男	帝人フロンティア株式会社	大阪	5	男	M1	総合人間自然科学研究科 農学専攻
6	男	株式会社ダイセル	姫路	6	男	M1	総合人間自然科学研究科 農学専攻
7	男	チカミルテック株式会社	高知	7	男	M1	総合人間自然科学研究科 理学専攻
8	男	南海化学株式会社	高知	8	女	M1	総合人間自然科学研究科 理学専攻
9	男	株式会社高知銀行	高知	9	男	4年	理学部応用理学科応用化学コース
				10	男	4年	農学部
				11	男	4年	農学部
				12	男	4年	農学部

※ 登録対象学年；原則、3年生以上

希望創発研究会テーマ② (2018年度)

□ Bテーマ 医療・介護分野での課題解決

- 医療・介護の課題を広く俯瞰し、重点とする課題解決対象セグメントを決定
- 病院・介護施設、製薬、罹患者といった専門的課題以外にもフォーカス
- 予防や家族支援も含めた社会の営みの全体像に対する俯瞰的視点から『切実なニーズ』への対応の検討

参画社員				登録学生			
連番	性別	所属組織	在任地	連番	性別	学年	所属学部・大学院
1	男	富士通株式会社	首都圏	1	男	M1	総合人間自然科学研究科 理学専攻
2	男	イオンアピス株式会社	首都圏	2	男	M1	総合人間自然科学研究科 理学専攻
3	男	帝人ファーマ株式会社	首都圏	3	男	M1	総合人間自然科学研究科 TSP-GS
4	男	旭化成エレクトロニクス株式会社	首都圏	4	女	3年	医学部看護学科
5	男	株式会社ファーストリテイリング	首都圏	5	女	3年	地域協働学部
6	男	ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社	愛知	6	女	3年	地域協働学部
7	男	コクヨ株式会社	大阪				
8	女	株式会社センプラン研究所	高知				
9	女	株式会社高南メディカル	高知				
10	男	和建设株式会社	高知				
11	男	株式会社高知銀行	高知				

※ 登録対象学年；原則、3年生以上

Aテーマ研究会



Bテーマ研究会



年間スケジュール概要

月	学事日程	研究会形態	Aテーマ	Bテーマ
4	4/14(土)~15(日)	合同開催	基調講演「高知を知る」「学び」を学ぶ等	基調講演「高知を知る」「学び」を学ぶ等
5	5/12(土)~13(日)	合同開催+テーマ別活動	本質への探究、農業の現場を知る等	グループワークの進め方、本質への探究等
6	6/9(土)~10(日)	合同開催+テーマ別活動	養殖の現場を知る、基礎セミナー等	グループワーク、現場観察、基礎セミナー等
7	7/14(土)~15(日)	テーマ別活動	林業の現場を知る等	PJ報告会(テーマ確定)、振り返り等
8	8/23(木)~24(金)	合同合宿	「巧」との接触、徹底討議等	「巧」との接触、徹底討議等
9	9/15(土)~16(日)	テーマ別活動	課題発掘とテーマ設定	グループワーク、集中討議等
10	10/20(土)~21(日)	テーマ別活動	課題発掘とテーマ設定	グループワーク、集中討議等
11	11/10(土)~11(日)	テーマ別活動	課題発掘とテーマ設定	グループワーク、集中討議等
12	12/8(土)~9(日)	合同発表会	合同発表会、グループワーク、振り返り等	合同発表会、グループワーク、振り返り等
1	1/12(土)~13(日)	テーマ別活動	成果のレビュー プロジェクト実践化への検討	成果のレビュー プロジェクト実践化への検討
2	2/10(日)~11(月)	テーマ別活動	成果の社会活用の検討(詳細未定)	成果の社会活用の検討(詳細未定)
3	3/9(土)~10(日)	テーマ別活動+修了イベント	合同発表会、振り返り等	合同発表会、振り返り等

大学と企業の旧来にない「教育インフラ」(概念図)

